

2021年 福岡県ライフセービング協会 パトロール統計

■パトロール概要

海水浴場	シーサイドもちもち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	福岡海水浴場(福津市)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県LS協会
LSC	博多 SLSC・九産大 LSC・福岡大 LSC	博多 SLSC・九産大 LSC	新宮 LSC	福岡 SSSLSC	宗像 LSC	5LSC
期間	7/11～9/1	7/1～8/31	7/17～8/29	7/20～8/31	7/10～8/31	7/1～9/1
日数	52日	9日	15日	42日	52日	延べ170日
総入込数	不明	不明	3,485人	不明	5,556人	不明
ピーク時入込数	不明	不明	200人	不明	400人	不明
パトロール時間(日)	8時間	6.5時間	7.5時間	8.5時間	9時間	平均7.9時間
延べLS数	269人	102人	112人	126人	166人	延べ775人
延べパトロール時間(×人)	2,152時間	663時間	840時間	1,071時間	1,494時間	延べ6,220時間

※ 延べライフセーバー数＝海水浴場開設期間中に配置した人数の合計

※ 延べパトロール時間＝1日のパトロール総時間×延べライフセーバー数

■レスキュー概要

海水浴場	シーサイドもちもち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	福岡海水浴場(福津市)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県LS協会
レスキュー数	0人	0人	18人	11人	3人	32人
EC						0人
PA	0人	0人	18人	11人	3人	32人

※ EC=Emergency Care (救助した時に意識が無い(反応がない・目を開けない))

※ PA=Preventive Action (救助した時に意識がある(反応がある・目を開ける))

■レスキュー詳細

海水浴場	シーサイドもちもち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	福岡海水浴場(福津市)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県LS協会
PA	0人	0人	18人	11人	3人	32人
PA(男性)			10人	9人	3人	22人
PA(女性)			8人	2人		10人
PA(0～9歳)			7人			7人
PA(10歳代)			3人	1人	3人	7人
PA(20歳代)			5人	4人		9人
PA(30歳代)			2人	4人		6人
PA(40歳代)			1人	1人		2人
PA 自然要因(離岸流)			1人	2人	3人	6人
PA 自然要因(沿岸流)			4人	1人		5人
PA 自然要因(風に流される)			7人	4人		11人
PA 自然要因(陥没・急深)			2人			2人
PA 自然要因(その他)			4人			4人

PA 個人要因 (パニック)			5 人			5 人
PA 個人要因 (泳力不足)			12 人			12 人
PA 個人要因 (泳力不足)			1 人			1 人
PA 行為 (浮具有)			15 人			15 人
PA 行為 (浮具無)			2 人			2 人
PA 行為 (ボディボード)			1 人			1 人
PA 行為 (その他)				7 人		7 人

■ FA 詳細

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	福岡海水浴場(福津市)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県 LS 協会
FA	19 人	20 人	3 人	0 人	3 人	45 人
FA(擦過傷)	5 人		1 人			6 人
FA(切創)	3 人					3 人
FA(クラゲ)	8 人	20 人			2 人	30 人
FA(とげ)	3 人		2 人		1 人	6 人

※ FA=First Aid (応急手当)

■ 対応件数

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	福岡海水浴場(福津市)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県 LS 協会
通報対応	0 件	0 件	0 件	0 軒	0 件	0 件
海上保安庁						0 件
消防(救助)						0 件
警察						0 件

■ 総論

この統計は、公益財団法人日本ライフセービング協会に加盟する福岡県ライフセービング協会に所属する福岡県内各ライフセービングクラブが夏季に海水浴場において活動したパトロールの統計です。

2021 年パトロール中における海水浴死亡事故はなく、6LSC が活動した 5 浜でのレスキューは 32 人でした。2021 年はコロナ禍が続き、8 月の悪天候も重なって海水浴客が減少したこともあり、コロナ禍以前と比べて総入込数やレスキュー数は減少しています。

また、今夏の当協会が把握している福岡県内での海水浴遊泳死亡事故は 1 件でした。

PA の 32 人のうち、男性が 68.8%を占め、0~9 歳が 21.9%、0~19 歳で 43.8%、0~29 歳では 71.9%を占めており、PA の約 7 割が男性で若年層がとて多いたことがわかります。今後は若年層に対してのより一層の海水浴における安全啓蒙や教育が望まれます。

2019 年度から福岡県内のパトロール統計を開始して分析を進めるとともに、海水浴事故におけるライフセーバー間や各行政機関との迅速な情報共有も整いつつあります。

今後とも各行政機関や関係各位のご協力や福岡県内における連携強化により、福岡県内の溺水事故ゼロに向けて、更なる努力と情報共有を図っていきたいと考えています。



特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会

Mail : info@lifesaving.fukuoka.jp